

# ならコープ環境保全活動 2022年度助成団体報告集





## 2022 年度 ならコープ環境保全活動助成団体報告集の発刊にあたって

ならコープは、“平和とよりよい生活のために”をスローガンに、「家族に安心して食べさせられる商品を購入したい」との想いで創立された生活協同組合です。創立以来、「よりよい生活は、平和とよりよい環境の中でこそ実現する」との考えを事業と活動のベースにおき、持続可能な社会の実現をめざして様々な取り組みをすすめてまいりました。地球環境については、これ以上悪化させることなく、少しでも改善して次世代の子どもたちに引き継ぎたい、との想いを大切にしています。

地球温暖化にともなう気候危機に対するの行動を「ひとづくり」「まちづくり」の視点で、奈良の豊かな自然と文化を守る取り組みを協同の力で実現することが、多くの市民が参加する組織としての責務であると認識しています。その実現のために、行政や地域で活動される環境保全活動団体のみなさんと、協同して取り組んでいきたいと願っています。

2023年2月に開催した「2022年度 ならコープ環境保全活動助成団体交流会」では、「特定非営利活動法人サークルおてんとさん」、「春日山原始林を未来へつなぐ会」、「NPO 法人グリーンスポーツ奈良」の3つの団体から、団体の紹介や活動状況、活動への熱い想いをご報告いただきました。ワークショップでは、活動の担い手や理念の継承など、活動を続ける上での共通の困りごとについても活発な意見交流がなされ、今後に向けてのヒントを得られる場面もあったのではないかと思います。「いこま棚田クラブ」、「馬見シェアリングネイチャーの会」、「東洋コウモリ研究所」、「山守の会プラス彩雲ひろば」、「奈良・人と自然の会」、「町思会」、「里山の山野草を守る会」、「馬見自然塾」、「エコパートナー21」、「秋篠川源流を愛し育てる会」、「アースデイ奈良実行委員会」、「蒼池の会」、「笑郷まほろばの会」、「奈良県勤労者山岳連盟」、「緑友会」、「川西町・サークルお花畑」のみなさまにおかれましても、テーマに基づいた活動に取り組まれた姿から、その活動の広がりを実感することができました。改めて、本助成制度における意義を確認するとともに、本助成団体同士の交流の場の大切さを感じました。

地球環境問題は異常気象と温暖化の悪循環がますます顕著になっています。ならコープ 2030 環境ビジョンに掲げた「CO<sub>2</sub>排出量や食品廃棄量、プラスチック容器包装排出量削減」の目標達成に向けた取り組みの具体化をすすめます。そして、持続可能な社会の実現をめざして、私たち自らの消費行動やくらしのあり方の見直しを、今後もより一層すすめてまいりましょう。

市民生活協同組合ならコープ 理事長 吉田由香

# 2022年度環境保全活動 助成団体一覧

	団体名	主な活動地域
1	いこま棚田クラブ	生駒市西畑町
2	馬見シェアリングネイチャーの会	馬見丘陵公園 (北葛城郡)
3	東洋コウモリ研究所	こうもり博物館 (奈良市広岡町)
4	山守の会プラス彩雲ひろば	桜井市
5	奈良・人と自然の会	奈良市
6	特定非営利活動法人 サークルおてんとさん	奈良県
7	町思会	奈良市五ヶ谷
8	里山の山野草を守る会	桜井市
9	馬見自然塾	馬見丘陵公園 (北葛城郡)
10	エコパートナー21	奈良市奈良坂町
11	春日山原始林を未来へつなぐ会	奈良市春日山
12	秋篠川源流を愛し育てる会	奈良市 秋篠川源流地域
13	アースデイ奈良2022実行委員会	奈良公園登大路園地 (奈良市)
14	蒼池の会	奈良市蒼池
15	笑郷まほろばの会	香芝市
16	奈良県勤労者山岳連盟	奈良県
17	緑友会	奈良県
18	川西町・サークルお花畑	川西町
19	NPO法人グリーンスポーツ奈良	奈良市

# いこま棚田クラブ



## テーマ「生駒市西畑地区の棚田・里山の再生と創造」

- 生駒市西畑町の棚田・里山の再生と創造に取り組んで、今年の10月には2003年の活動開始から満20年を迎えることになる。
- 地元自治会のみなさまの信頼に支えられ、自治会館の使用などの協力関係などが心強い。
- 私たちボランティアメンバーは、毎週棚田に来て、景観整備をすべく、草刈りや休耕地の活用に取り組んでいる。昨年度はコロナ問題にもかかわらず、51回で1,715名ゲスト参加者811名の活動実績となっている。



# 馬見シェアリングネイチャーの会



## テーマ「ネイチャーゲームや自然体験活動を通して、自然を楽しみ自然と遊び自然を学ぶ喜びを知ること。」

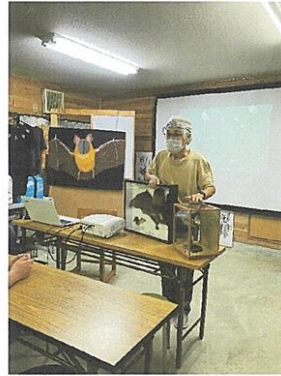
- 親子でのネイチャーゲーム体験会を夏と冬に計4回、会員向けの研修を秋に1回開催しました。コロナ禍や自然体験へのニーズの高まりも影響しているようで、親子向けのイベントは参加者が年々増加傾向にあります。
- ネイチャーゲームを通して自然への関心を高め、自然を慈しむ心を醸成するとともに、楽しさや驚き、協働から生まれる主体的・対話的な学びの機会にもなればと思います。



# 東洋コウモリ研究所

## テーマ「コウモリ観察会 2022」

- コウモリ博物館の夜のいきもの観察会は今年度合計60名の参加者を迎え、無事開催することができました。参加者からは飛んでいる姿を目にすることがあっても、どんな暮らしをしているのかはさっぱりわからなかったので、詳しく説明してもらえてよかったとお声をいただきました。
- 私たちの身近で生息しているコウモリの姿の本当の姿を多くの方に知っていただける機会になったと思います。



コウモリ観察会 室内レクチャー



コウモリ観察会 野外観察風景

# 山守の会プラス彩雲ひろば

## テーマ「里山林の保全と利用促進」

### ・1、里山林の保全活動

本年度も結成以来、一貫して行っている間伐を実施。林分の健全化を図り、環境保全の一助となる活動を展開することができた。



### ・2、里山の利用促進活動

保育所の用事や小学生を始め、子供同伴の若い世代の都市住民、オープン参加者等延べ500名を受け入れ、伐採、剥皮、ノコギリ、落葉集め、焚火や焼芋等里山ならではの体験を胸に笑顔で帰路に着く姿に活動結果を見る。





# 奈良・人と自然の会

## テーマ「ならやま里山景観整備事業」の ビオトープ池の整備および絶滅危惧種 「ニッポンバラタナゴ」の育種環境の安定化

- ビオトープにある池や湿地への通路、水路を整備し、訪れる人に安心して四季の草花や水辺の生物と親しんでもらう事ができた。また水路の整備を進めた結果、流れ込む水の量が増え、池や湿地の良好な環境を維持することができた。
- タナゴの育種については田貝の育種について成果を上げることができた。来年度はより自然な環境の下でのタナゴや田貝の育種に取り組み、タナゴや水生昆虫に親しめるビオトープ作りを目指します。



特定非営利活動法人  
サークルおてんとさん HP



# サークルおてんとさん

## テーマ「地球温暖化防止やエネルギー問題に関する講演会の開催」

- 地球温暖化問題や脱炭素等をテーマにNHKスペシャル等の番組を作成している堅達京子さんを講師に迎え、講演会「脱炭素革命への挑戦～世界の潮流と日本の課題」を開催した。科学者たちは産業革命前からの気温上昇を 1.5度に抑えなければ後戻りのできない状況になり、もはや気候非常事態であると警告していて、このまま行けば灼熱地球へドミノ倒しが始まる事態も予想できるという。
- 大洪水、干ばつ、陸地の水没、南極の氷床崩壊などに加えて、戦争による脱炭素への逆行も懸念事項だ。そんな中で日本が石炭火力発電にこだわり、再エネを主流としない流れになっていることは世界の潮流からはずれている。脱炭素、再エネ重視、断熱、生物多様性、地産地消、食品ロス、公正な移行、気候正義などへの果敢な取り組みが必要だと強く感じた。



## 町思会

テーマ「五ヶ谷の里の景観を守り、この地域の発展と活性化に寄与すると共に会員相互の親睦を図る。」

- 今年も山辺の道(奈良道)近くの畑にコスモスやひまわりをいっぱい咲かせました。野菜も昨年同様手に余るほど育てましたが、収穫間際になって猪に食い荒らされる事態となり、さらに強固な防護柵を設置しました。
- 奈良マラソンのコースが域内を通ることから、毎年応援用に大きな案山子を作っています。今年はずさぎにしました。助成いただいたお金は肥料や資材購入に充当させていただきました。今後も御支援の程宜しく願います。



## 里山の山野草を守る会

テーマ「里山の山野草を守る会(里山の山野草を守る保全活動)」

- 2008年3月以来15年間、桜井市三谷地区で山野草自生地の保全活動を実施しています。コロナ禍で重症化しやすい高齢者メンバーが主体のため、多人数での活動を減らし少人数の活動を増やすなど工夫し、今年度はコロナ前に近い活動を行なうことができました。
- 山野草はササや草を刈ったり、陽が当たるようにしたり、逆に日陰にしたり、山野草に合った環境を保つことが必要で、15年目の今年も継いでいくことができました。







# 馬見自然塾

テーマ「五感を使っての自然観察をとおして自然のしくみを学び環境保全の基礎力とする」

- 都市住民が都市公園など身近な場所で定期的に自然観察会をすると新たな発見があり、環境問題の基礎力を養うことができる。観察を続けていくと、最近の動植物の外来種の急激な増加は在来種への圧迫や絶滅危惧種化、交雑化を引き起こしていることがわかる。
- 放置された里山で外来種動物による都市近郊市民へのマダニの被害増加なども観察されている。単に動植物を見て回っているだけでは済まされない問題が発見されている。



# エコパートナー21

テーマ「子どもたちと食・農・環境への理解を深める活動」

- 今年度も約 25 名の子供たちを対象に農業体験の場を提供しました。最初は抵抗があった子供たちもすぐに慣れて土や虫と親しめるように作物の成長を楽しんでくれるようになりました。
- 自分たちで育てた野菜を収穫して食べる喜びだけでなく、思うように育たなかったり、収穫が大変だったりといった野菜作りの難しさも感じてもらえたかと思えます。これからも子供たちと学びある楽しい時間を一緒に過ごしていけたらと思います。



# 春日山原始林を 未来へつなぐ会

春日山原始林を  
未来へつなぐ会HP



## テーマ「春日山原始林観察会」

- 今年度は粘菌、キノコ、森林循環、ネイチャーゲームの4回を開催することができました。助成金をいただいたので各観察会では研究者の先生を講師にお迎えすることができました。
- 粘菌やキノコなど、少しマニアックなテーマの観察会では会員外の方にも多く参加いただけて、春日山原始林のことを知っていただく機会となりました。



# 秋篠川源流を愛し育てる会

## テーマ「児童による秋篠川環境啓発標語の 作成と桜幹への掲示」

- 秋篠川源流域にある平城西小学校、鶴舞小学校、東登美ヶ丘小学校の4年次全児童241名の環境標語は堤防を散策する多くの住民が、ふと!目にして純粋な言葉に動かされています。
- なかには、「川のゴミ捨てるの簡単拾うの大変分かったか!」と大人の心にズシンとくるものもありました。非常にタイトな授業時間割の中で貴重な時間を標語作成に割いてくれる先生の努力は児童が成長した暁には必ず報われると思います。



写真① 環境標語と桜幹の名札



写真② 標語をプラスチック板に固定する作業



# アースデイ奈良実行委員会

テーマ「アースデイ奈良2022「2030年のゴールまであと8年」～サステナブルを奈良から発信する～」

- 奈良公園にて16回目、約6000人の来場があり、特に親子連れが多く、滞在時間も長くゆったりと過ごして頂きました。
- 有機・地産地消の食べ物やNPO等の体験コーナーなど約70団体のブース出展、再生可能エネルギーを使ったステージ、SDGsな暮らしの提案などを催し、多くの来場者が「マイ食器」持参でお越しくださり環境負荷低減と感染症対策にも寄与できました。これらを機に「毎日がアースデイ」につなげていきたいと思ひます。



ネイチャーゲーム



ステージ 仲川市長

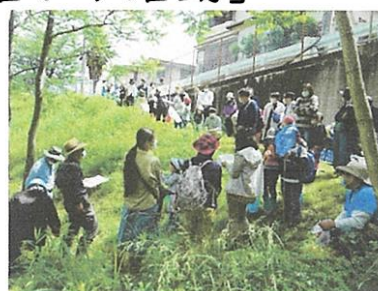


ブース

## 蒼池の会

テーマ「蒼池の自然環境を守り活かす活動」

- 毎月一度蒼池に立ち入って、清掃、草刈り、集会通路の維持など、環境整備作業を行った。水質調査を実施し、問題がないことを確認した。春と秋に自然観察会を開催し一般市民に蒼池魅力を紹介した。奈良市西部公民館で、「蒼池の今昔」と題して展示を行った。活動状況を会報「あお池便り」で発信した。
- 蒼池は古地図にも記録された古いため池の跡地で、この貴重な歴史的な自然環境を維持し、価値をさらに高める活動を続けたい。



春の自然観察会



秋の自然観察会

# 笑郷まほろばの会



## テーマ「屯鶴峯と周辺の里山環境の保全」

- 植物、昆虫、野鳥、地質の観察会ササユリの栽培、水目の観察を引き続き実施した。それに加えササユリ、コバノミツバツツジの開花調査に取り組んだ。ホタル保全のための休耕田の活用(コミュニティファーム&ビオトープ)を「あぐりの里」と共同で手掛けたため、ホタルの飛翔が飛躍的に多くなった。
- リース作り、しめ縄作り、摘み草と七草粥を企画し呼びかけ、地域の方々と共に自然に楽しみ、コミュニティファームへの参画を促した。



# 奈良県勤労者山岳連盟



## テーマ「グリーンハイク(ふるさとの自然を守り育てよう)」

- 山のトイレマナーを呼びかけ、117.9 kg のゴミを回収し、各山域の課題(不法投棄調査、避難小屋や案内板掃除、ナラ枯れ木ビニールシート処理等)に取り組みました。
- その他「親子向け観察会」「大台ヶ原の保全活動支援(ハルザキヤマガラシ除去やトウヒ林の保全)」、「山の谷水・湧水の調査」も行いました。今後も自然を楽しみながら『自然環境を知り、山域を守る活動』を進めていきます。





# 緑友会

## テーマ「歴史と環境に配慮した景観保全活動」

- ・ 今期の活動も新型コロナウイルス感染防止と熱中症対策をしながら、草刈り・剪定など景観の保全活動を実施しました。
- ・ 環境保全活動では、昨年引き続き雨水を貯水して灌水を利用すること、今回は芋畑でマルチとして紙製と腐葉土の2種類を被覆し除草の効果を比較しました。

(写真上:手前が腐葉土、向こう側が紙マルチ)

- ・ また地域の子どもたちとの芋掘り会は、感染防止対策をした上で、多くの子供達と父兄で楽しく芋掘りをしていただきました。

(写真下:親子で芋掘りの状況)



## 川西町・サークルお花畑

テーマ

「花とみどりのまちづくり」

- ・ 地域の環境・美化活動、ゴミの減量とリサイクル
- ・ 住民の交流の場づくり

- ・ グループ結成25年目を迎え、これまで継続できたのは長年に渡り、共に歩んだ多くの仲間たちとの様々な活動の成果、それに加えて常時関わって下さった、多方面からの協力・支援があったからこそと、今振り返って感慨無量です。
- ・ 今後もさらに新たな地域活性化の課題にも取り組み、常に前向きな行動力と学習を重ねて、良い環境に包まれたまちづくりを目標として更に歩み続けていきたいと思ひます。



# NPO法人 グリーンスポーツ奈良

NPO法人グリーン  
スポーツ奈良HP



テーマ「生ごみを有機肥料に変え、活用しよう」

- 生ごみを有機肥料に変え、燃やされる生ごみを減らして、ストップ地球温暖化活動に取り組みました。貴環境保全活動助成を活用して、12月11日ほっと青山集会室で「生ごみリサイクル講習会」を開催しました。
- 生成する有機肥料の使い方を実践で学び、生ごみリサイクルが各家庭で継続することを願って、ほっと青山畑で有機肥料を活用し、6月25日さつまいも苗植え、12月17日玉ねぎ苗植えを行い、安心安全な有機野菜を育てる実践をしました。



## 2022年度 交流会の様子

2/11(土)  
ふれあいセンター六条で  
開催し、30名の参加が  
ありました。

### リレー報告の様子



### ワークショップの様子



## 「ならコープ環境保全活動助成」とは

ならコープでは 1979 年の買い物袋持参運動・1982 年にマイバッグ運動が始まりました。省資源・ごみ減量のため使い捨てのレジ袋を 1982 年より有料化し、ご負担いただいたレジ袋代金の一部を「環境資金」として環境活動に活用してきました。2005 年度から奈良県内で環境保全活動を行う団体に対して助成金として活用していただいています。

### 応募要項(抜粋)

#### (1) 応募資格

奈良県内で活動する団体・グループ・サークル等(個人は除く)

#### (2) 助成の対象

地域の自然環境、地球環境の保全に関わる以下の活動を助成の対象とします。  
調査・研究活動、教育・啓発活動、政策提言活動、環境保全の実践活動

#### (3) 助成の基準

1件4万円を上限とし助成します。  
募集年度では同一団体への助成は1件のみとします。

#### (4) 助成の流れ

- 募集期間 2月機関紙「あをがき」でお知らせ
- 応募期間 3月15日までに所定の応募用紙提出
- 助成先決定 4月理事会
- 助成金交付 助成金請求により助成金交付・HP掲載
- 事業の執行 4月から翌年2月中旬までの事業対象
- 報告書提出 事業終了後1ヶ月(最終翌年2月末)
- 報告集作成 発行

ならコープ環境保全  
活動助成 HP



## 市民生活協同組合ならコープ

〒630-8136 奈良県奈良市恋の窪一丁目2番2号  
TEL: (0742)33-6443 FAX: (0742) 34-8060  
ホームページ <http://www.naracoop.or.jp/>

2023年4月  
環境エネルギー推進部 発行

この印刷物は、「責任ある木質資源」を使用したFSC®認証用紙を使用しています。